



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

topics

- 令和8年度一般会計補正予算を含む議案26件を可決
- 18人の議員が一般質問を実施
- 議会報告会と市民の意見を聴く会を開催しました
- 常任委員会行政調査報告
- 小学生議場見学

こまき
Komaki



Shigikai Dayori
市議会だより

2026

8

No.215



『篠岡の桃 初収穫!』
(令和8年6月14日撮影)

第2回定例会

会期 6月1日から6月24日
までの24日間

条例案4件をはじめ、合計26議案を審議しました。
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条例

▽廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定

市が収集する一般廃棄物に、特定ごみを追加し、特定ごみの収集、運搬及び処分に係る手数料の額を1個につき1050円とする。(一部の規定を除き、令和8年7月1日施行)



▽沿道区域の指定の基準を定める条例の制定

市道に接続する区域の工作物等が市道の構造に及ぼすべき損害を予防し、又は市道の交通に及ぼすべき危険を防止するため、市道の沿道区域の指定の基準を定める。(公布の日から施行)

一般

▽水槽車の取得

・消防署に配備する1台を更新
(7667万円)

▽高規格救急自動車の取得

・消防署に配備する1台を更新
(3201万円)



▽備蓄用非常食の取得

・備蓄用非常食 8万620食
(2009万9869円)



補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億1971万2000円増額し、728億9971万2000円とするものです。
主なものは次のとおりです。

【歳入】

・前年度繰越金

7661万2000円(増額)

・多世代交流プラザ管理事業債

7690万円(増額)

・都市整備事業債

6590万円(増額)

【歳出】

・ラピオ設備修繕負担金

多世代交流プラザ施設

管理事業

1億1279万1000円

(増額)

市営駐車場施設管理事業

7617万6000円

(増額)

ラピオ財産管理事業

2067万円(増額)

人事

▽農業委員会委員の任命

※敬称略

・石田 昭代	(再任)
・伊藤 茂之	(再任)
・伊藤 初美	(再任)
・落合 茂光	(再任)
・川橋 宗之	(再任)
・栗岡 泰規	(再任)
・栗木 光之輔	(再任)
・堀尾 知子	(再任)
・山田 貴史	(再任)
・山田 利宏	(再任)
・鬼頭 克彰	(新任)
・瀬瀬 昌章	(新任)
・関戸 怜子	(新任)
・松浦 光良	(新任)

第 2 回 定 例 会

◇上程議案と審議結果◇

※否決された議案はありませんでした。

議決結果	件 名
条例案 4件	
全員一致	行政手続条例の一部を改正する条例の制定
賛成多数	市税条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	沿道区域の指定の基準を定める条例の制定
一般議案 5件	
全員一致	水槽車の取得
全員一致	高規格救急自動車の取得
全員一致	蒸気回転釜の取得
全員一致	小牧市立第二保育園改築工事のうち建築工事請負契約の締結
全員一致	備蓄用非常食の取得
専決処分承認案 2件	
全員一致	専決処分の承認(市税条例の一部を改正する条例の制定)
全員一致	専決処分の承認(国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定)
補正予算案 1件	
全員一致	一般会計補正予算(第1号)
人事案 14件	
全員一致	農業委員会委員の任命(14件)

表決結果の分かれた議案

※議員名は会派別、50音順です

第2回定例会	牧 政 会								こまき民主 市議団				日本共産党 小牧市議団				公 明 党 小牧市議団				無会派				
	阿部 哲己	石田 知早人	河内 伸一	小島 倫明	佐藤 悟	鈴木 裕士	永井 孝典	舟橋 秀和	余語 智	小川 真由美	小沢 国大	諸岡 英実	谷田貝 将典	猪飼 健治	安江 美代子	山田 美代子	加藤 晶子	佐藤 早苗	星熊 伸作	伊藤 皇士郎	大上 利幸	河内 光	木村 哲也	黒木 明	清水 隆宏
市税条例の一部を改正する 条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。

■ 賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。

■ 議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

委員会審査報告

主な審査内容と結果を
お知らせします。

総務委員会

行政手続条例の一部を改正する
条例の制定

結果 全員一致で可決

聴聞の通知の方法の見直し

問 聴聞の通知の方法と対象となる案件について問う。

答 これまでどおり市の掲示場に掲示する方法と、新たに規則で定める方法としてインターネットでの公表を予定している。

公示の方法による聴聞の通知は、許可の取消しなど、一定の不利益処分を行う場合で、その名宛人の所在が不明というところで、ごく限られたものと想定している。



福祉厚生委員会

小牧市立第二保育園改築工事のうち
建築工事請負契約の締結

結果 全員一致で可決

老朽化している第二保育園の
改築を実施

問 改築工事のスケジュールについて問う。

答 改築工事は令和8年7月16日から令和9年11月17日までの工期を予定している。工事請負契約を締結後、10月から12月にかけて工事ヤードの仮囲い、既設の倉庫や屋外プール等の撤去、遊具の移設、現園舎への、ガス管、水道管及び電気配線の布設替え等の工事を行った後、令和9年10月まで、新園舎の建設工事や外構工事を予定している。その後、新園舎に備品の搬入等を行い、開園の準備を進め、令和9年秋頃に新園舎の開園を予定している。

文教建設委員会

蒸気回転釜の取得

結果 全員一致で可決

北部学校給食センターの蒸気
回転釜の更新

問 経年劣化の状況について問う。

答 蒸気回転釜は内釜を蒸気で包み込むように加熱することで食材を均一に加熱できる調理機器である。

現在、北部学校給食センターに設置している蒸気回転釜は、設置から27年経過しており、製品の経年劣化、蒸気の給気・排気の配管からの蒸気漏れなどで食材を均一に加熱できず、仕上がりが不安定になることがある。また、釜を回転させるハンドルの軸の不具合が配管時や釜の清掃時に調理員の負担となっている。

安定した加熱により児童生徒においしい給食を提供し、また調理員の安全確保のためにも機器を更新するもの。

予算決算委員会

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

結果 全員一致で可決

〈総務分科会〉

非常用発電設備の始動用蓄電池の取替え

問 始動用蓄電池の取替えの内容について問う。

答 法定点検において、本庁舎及び東庁舎に非常時の予備電源として設置している非常用発電設備の始動用装置である蓄電池の劣化が確認されたため、耐用年数15年程度の蓄電池への交換を行う。



〈福祉厚生分科会〉

アジア・アジアパラ競技大会の 学校観戦を実施

問 学校観戦を行う学校の選定について問う。

答 愛知県で実施する学校観戦事業については、会場まで徒歩で移動することから全校生徒でない場合もあるが、現在、岩崎中学校、小牧原小学校、一色小学校で約1200名の生徒が大会期間中のいずれかの日に観戦をする予定となっている。また、一部の学校ではバレーボール部員が個別で観戦することとなっている。

市独自で実施をする小牧市学校観戦事業については、約720名分の観戦を予定しているが、今現在、対象とする学校については決定していない。既に観戦が決定している学校を除いた、パークアリーナ小牧から比較的近い学校で今後、選定をしていきたいと考えている。教育委員会とも連携をしながら大会学習教材や関連事業を通じて、可能な限り子どもたちに大会に触れる機会を確保し、教育効果が広く行き渡るよう努めていきたい。

〈福祉厚生分科会〉

ラピオビル大規模修繕工事の 延長

問 年度内完了が見込めない理由について問う。

答 ラピオビルの大規模修繕については、ビルを管理している小牧都市開発株式会社が作成した修繕計画に基づき、経年劣化した外壁や屋根等の修繕を令和6年度から順次行っているものであり、令和8年度はビル南西側の外壁及びアリーナ西側の屋根の修繕工事を予定している。

施工にあたり外部足場の設置が必要となるが、今年度は10月25日の第47回小牧市民まつりにおいて、東京デザインリゾートスぺシャルパレードが開催される予定であり、パレードのルート上であるラピオビル周辺にはまつり当日に相当数の来場者が見込まれるため、来場者の安全確保及びパレードの運営上の景観配慮などから、小牧市民まつり以降に外部足場を設置する予定としている。これにより、修繕工事の年度内完了が見込めないことから繰越明許費を計上するもの。

〈文教建設分科会〉

ラピオビル大規模修繕工事の 完了予定

問 修繕状況と完了予定について問う。

答 大規模修繕について、令和6年度は北側の外壁全面と東側と西側の一部の外壁、あさひホールの屋根等の修繕工事を行った。令和7年度は外壁の南東側、アリーナ東側の屋根の修繕を行った。

令和8年度は南西側の外壁とアリーナ西側の屋根の修繕を行う予定をしている。今年度の施工が終了すると外壁の修繕工事については全て完了となる。

残りの工事は屋上の主に北側の陸屋根部分の防水工事と屋上に設置されている一部の機械室の塗装工事等であり、来年度中の完了を予定している。



◇ 納税状況の公表

全議員の令和8年3月分までの市税について、未納はありませんでした。

表彰状

4月23日、第109回東海市議会議長会定期総会および、5月27日、第102回全国市議会議長会定期総会において、河内伸一議員が市議会議員として15年、市政発展に寄与された功績に対し、表彰状を受けました。



待機児童解消に向けた取組



佐藤 政会
さとう まこと

悟



動画をチェック!

問 待機児童解消に向けた取組として①保育需要の拡大の現状や今後の見込み、保育提供体制のあり方を問う。②保育士の確保について正規保育士の新規採用の状況や確保に向けた取組を問う。



答

① 本年5月1日現在で、1歳児89人が待機児童となっている。保育料無償化の影響もあり0〜2歳児までの入園率が年々上昇しているが、少子化の進行により0〜2歳児までの入園者数は今年度から年度頃にピークを迎えると推計している。今後は公立保育園の低年齢児の定員を一時的に拡大し、保育の提供体制の確保を検討する。② 4年間で44人程度の正規保育士の増員を検討している。離職者を減らすことが課題であり、延長保育時間帯に従事する職員の手当の見直しや保育補助者の導入、みなし保育士の活用等により、保育従事者の増員を図るとともに、ICT機器の配置等をさらに進め、正規保育士にとって働きやすい職場環境を確保したい。待機児童解消に向け、これらの取組のほか保育料無償化は継続しつつ在宅保育手当の導入の是非について検討し、在宅で育児する選択肢を増やしていくことを検討する。

こまき巡回バスの再編・見直し



こまき民主市議員
小川 真由美
おがわ まゆみ



動画をチェック!

問 乗り継ぎなしで小牧駅へ①再編後の利用者からの声を問う。② 8村中線の今後の改善を問う。③ 再編後の「こまくる」についての市長所見を問う。



答

① 現在までの約2か月間に「桃花台センターから小牧駅や市民病院に向かうコースが良くなった」「小牧駅と市民病院間を何本も運行するのは偏っており、高齢者以外の利用者にも目を向けてもらいたい」などの意見をいただいている。② 8村中線に限らず、再編後の利用状況等の把握に努め、道路交通状況により設定したダイヤと実際の運行に慢性的なズレが生じた場合など、必要に応じて、ダイヤの調整などの見直しを行うことも考えている。③ 利用状況や今年度実施予定の公共交通のあり方検討を踏まえ、おおむね5年ごとに実施する「こまくる」再編に向けた研究を進めていく。再編後の運行が利用実態と著しく異なる状況がみられた場合などには、次期再編を待つことなく、必要に応じて見直しを行うことも考えている。

クマ等の緊急銃猟に備えた事前準備



余語 智
よご ち



動画をチェック!

問 出没していない今だからこそ、緊急銃猟に備えた事前準備が必要である。① 緊急銃猟の認識と銃猟使用の条件を問う。② マニュアル整備の見解を問う。③ 狩猟免許を持つ公務員「ガバメントハンター」の人材確保を問う。④ 緊急銃猟は市民の生命を守る危機管理と考えるが見解を問う。

答

① 緊急銃猟は、日常生活の場に危険鳥獣であるヒグマ、ツキノワグマ、成獣のイノシシが出た場合に、住民の生命・安全の確保を最優先するため、市長の判断・指示により緊急に銃器を使用することができると認識している。銃使用には、環境省の「緊急銃猟ガイドライン」で示す場所、緊急性、方法、安全性の確保の4つの条件すべてを満たす必要がある。② 緊急時に迅速かつ的確な判断をするため、事前に判断手順等を明確にしたマニュアルを整備することは必要。③ 本市では、クマの目撃情報はなく、現段階では確保する考えはない。④ 本市ではこれまで、緊急銃猟に該当する事例はないが、近年の全国的な状況を踏まえ、将来的なリスクにも備えるため、マニュアル整備に向けた準備を進める。



北西部地区における道路整備



牧 政 会
鈴木 裕 士



動画をチェック!

問

東名・名神・名古屋高速のインターチェンジからの合流車両が村中交差点に集中し、交通渋滞が慢性化している。①村中交差点の渋滞緩和に向けた取組を問う。②北尾張中央道「入鹿出新田工区」の整備状況について問う。③市道宮後1号線との交差点における感應式信号機設置に向けた市の見解を問う。

答

①村中交差点の渋滞対策は、北西部地区の基盤整備を進める上で優先的に取り組むべき課題であるため、名濃道路建設促進期成同盟会などを通じて、国や県に対して、高規格道路・名濃道路の調査推進と抜本的な渋滞対策を要望している。今後も国、県、近隣市町と連携し、渋滞緩和に取り組んでいく。②県において替地交差点から市道村北1号線までの区間で南側の歩道整備が進められている。地域分断に対する裏道対策として、令和6年度から北尾張中央道以南の道路整備に着手している。③令和8年2月に実施した交通量調査の結果を踏まえ、4車線化の整備進捗に伴う交通状況の変化を勘案しながら、適切な時期に県とともに愛知県公安委員会と改めて協議を重ねていく。



商品券の一部電子化



無 会 派
木 村 哲 也



動画をチェック!

問

電子版商品券の利用時に必要な物は今年度プレミアム商品券は、紙版のほか、電子版商品券が実証実験として導入される。①事業者の準備として必要な事項を問う。②申込状況により判断する事項を問う。③家族単位の電子版申込の扱いを問う。④市で活用する贈答用商品券の電子化や、システムの将来性について見解を問う。

答

―商品券アプリ入りのスマホ等が必要―
①決済用QRコードの設置や運用体制の整備が必要。専用端末は不要。
②紙版・電子版それぞれ5割の予定だが、申込状況により紙版を7割まで増やす体制を整えている。
③家族間でも、個別の端末で利用する場合は、別々に申し込む必要がある。
④電子商品券の流通や、行政手続での活用は、利便性向上等の観点から有効な手段の一つではあるが、導入にはシステム上の課題整理も必要となる。今後は、実証実験結果を評価し、市の関与のあり方も含め検討する。



高齢者等の移動の支援



公明党小牧市議員
星 熊 伸 作



動画をチェック!

問

①福祉有償運送事業の利用状況について問う。②小牧市全域に拡大する可能性について問う。③社会福祉協議会等が実施している買い物ツアーの市の考え方について問う。

答

①本市の福祉有償運送はNPO法人生活支援サービス・ラポールが、11台の車両と運転者10人で、桃花台地区を中心に事業展開し、令和7年度から北里地区に拡大。登録者は271人、延べ利用者は2598人で、病院受診等に利用している。②福祉有償運送は営利事業とは異なり、地域の支え合いの仕組みとして運営される側面もあり、段階的にはなるが活動の広がりが期待できる。福祉有償運送に限らず、高齢者の移動支援の取組が展開される環境づくりに努める。③買い物ツアーは生活支援に加え、外出機会の創出、健康維持、閉じこもり防止、介護予防、社会参加のきっかけづくりなど多面的な効果があり、移動に不安を抱える高齢者にとって安心して外出できる意義のある取組である。本市としても支え合いによる取組の充実に向けて取り組んでいきたいと考えている。



地域の会館



牧 政 会

永井孝典



動画をチェック!

問 北里地区の会館について①建設経緯について問う。②老朽化の進行状況について問う。

答 ①北里地区には、現在17の会館が整備されている。その建設経緯は、名古屋飛行場及び航空自衛隊小牧基地に近接し、騒音の影響を受ける地域を多く含んでいることから、大半が空港周辺地域に対する障害緩和として当時の防衛庁や運輸省等の補助制度を活用して整備されたものである。なお、北里地区の会館は、すべて昭和40年代後半から50年代にかけて建設されており、市が所有する会館の中でも最も早くから整備が進められた地域である。

②築50年以上経過した会館が約半数を占めるなど、他地区に比べ老朽化が進んでいる状況にある。そのため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した大規模改修工事を含め、屋上防水、外壁塗装など施設をできるだけ長く利用するための予防保全工事を、他地区の会館に先駆けて実施してきた。今後も各会館の劣化状況に注視しながら、老朽化への対応を行っていく。



おくやみコーナーの利便性向上



無 会 派

清水隆宏



動画をチェック!

問 おくやみコーナーは好評である一方、慢性的に予約しづらい状況である。
①おくやみコーナーの予約状況を問う。
②課題と感じている点はあるかを問う。
③予約枠を拡充する考えはないかを問う。

答 ①予約率については、予約枠数に対する予約数の占める割合で、令和8年4月は75・6%。②特定の日に時に予約が集中した場合などには、希望する日に時に予約がとれない状況がある。③現状、プライバシーに配慮し個室を用意しているが、庁舎内のスペースには限りがあり、新たな専用個室の確保が容易ではない。人員体制面での制約もある。また、所要時間を短縮して予約枠を増やすことについては、令和7年度に実施したアンケート結果で、8割強の方が現行の1時間程度が「適当である」と回答され、個々の事情に応じたより丁寧な対応という点では、一定の時間を確保する必要がある。
このため、現時点で直ちにおくやみコーナーの予約枠を増やすことは困難だが、引き続き、おくやみコーナーの充実に資する改善などについて検討していく。



生命(いのち)の安全教育



公明党小牧市議員

加藤晶子



動画をチェック!

問 令和2年より推進されてきた「生命の安全教育」は本年、教材及び指導の手引きの拡充・改訂が行われ、更なる普及展開が求められている。本市の保育園等、学校現場、市民への啓発に対する取組状況とデジタル性暴力の対応について伺う。



答 保育園等では年長児を対象に幼児期出前講座を実施し、自分の体を大切にすることや自分の体を守るための正しい知識と行動を学ぶ機会を提供している。学校では「生と性のカリキュラム」の中で、性被害から身を守る方法について指導を行っている。各学校で養護教諭や担任による指導に加え、外部講師を活用し工夫しながら取り組んでいる。市民への啓発としては、中央図書館での「生と性のカリキュラム」の概要紹介や性教育に関する書籍の展示、胎児人形の抱っこ体験などの開催や市ホームページにおいて「思春期によくある質問」、「小学生・中学生・高校生のための相談窓口」等を掲載するなどしている。デジタル性暴力への対応については、情報モラル教育の充実を図り、児童生徒が自ら判断し安全に行動できる力を育成している。

命と健康を守る予防接種



公明党小牧市議員
佐藤 早苗



動画をチェック！

問

①高齢者肺炎球菌ワクチンは、今年度より新ワクチンに変更されましたが、定期接種の対象は65歳のみです。これまでに接種機会を逃した方、従来ワクチンで効果低下が懸念される方などに、独自の助成制度を設ける考えはないか伺う。

②9価HPVワクチンは、子宮頸がんの原因の80〜90%の感染を予防し、14歳までに接種を開始すると2回接種で完了します。2回接種のラストイヤーとなる14歳へ「お知らせ通知」を送付する考えはないか伺う。

答

①本市では、国に先駆け、平成21年度から市独自の助成を開始し、国の定期接種と市の助成を併用することで、65歳以上の全対象者に接種機会が提供され、市独自の助成事業の役割を果たしたと判断して事業を終了している。②本市では、HPVワクチン接種個別案内を接種開始となる12歳接種期間が終了する16歳の年度に通知し、早期に接種を促すとともに、接種機会を逃さないよう時期を選び通知している。14歳での個別通知は実施していないが、周知のあり方について今後検討する。



学校再編



日本共産党小牧市議員
猪飼 健治



動画をチェック！

問

①文科省が小規模校を残す選択肢もあるといっているのは、過疎地域や離島に限ることか、その対象地域は何か問う。②小規模校でも地域に必要であれば残していくべきという選択肢について、どのように考えるか見解を問う。③教育委員会としては「教室等も含めて、閉校した学校施設の利活用を考えている」という認識でよいか問う。④学校施設利活用検討の際、総合教育支援センターのような教育施設だけを利活用の対象とするのか、その他の施設も含めて総合的に検討するのか、方針を問う。

答

①特定の地域に限定されるものではなく地域の実情を踏まえ判断されるべきものであるが、過疎地域と篠岡地区では地域の実情が大きく異なる。②子どもたちにとってより良い教育環境を確保する視点で「小牧市新たな学校づくり推進計画」を基に地域の実情を踏まえ検討する。③不登校児童生徒の支援等のため総合教育支援センターの開設を検討しており、閉校後の校舎活用も候補であるが方針は未定。④市全体の方向性を定めた上で検討を進め、教育施設に限らず立地や土地利用、ファシリティマネジメント等の観点を踏まえ総合的に判断する。



子育て支援の充実



日本共産党小牧市議員
安江 美代子



動画をチェック！

問

①兄弟で異なる園に在籍している世帯数を問う。②今後も0歳児から2歳児の保育要望は増えると思う。兄弟が同じ園に在籍できるようにするためにどのように考えているか問う。③0歳児から2歳児の給食費は保護者負担はなしである。3歳児から5歳児も無償にするべきと考えるが、見解を問う。

答

①本年5月1日時点で兄弟が異なる園に在籍している世帯は89世帯、186人。②本市独自の保育料無償化による保育需要の増大に対して小規模保育事業所の整備を中心に0〜2歳児までの定員の拡充を図ってきたため兄弟が同一施設を利用できない状況が発生している。これまでも兄弟が同一施設を利用できるよう入所選考基準指数表の見直しを行っており、本年度からは更なる加点に改善した。今後は公立保育園の低年齢児の定員を一時的に増やすことを検討する。③未就学児は保育園や家庭など多様な保育の形態があり給食費無償化の実施には公平性の観点から検討が必要である。国の制度では3〜5歳児までの給食費は保護者負担とされており、また無償化には新たな財源が必要となるため、現時点で無償化の考えはない。





無会派
黒木 明

動画をチェック!



動画をチェック!

問

街頭政治活動で、交差点のガードパイプ等の公共物に、のぼりやポスターを複数固定する事例があり、歩道への視界が遮られ、交通安全上の懸念が生じているとの声が届いている。①道路交通法違反の可能性を問う。②道路法違反の可能性を問う。③このような行為を見かけた場合の通報先を問う。

答

①のぼりやポスターなどの設置方法や場所によって信号機や道路標識などの視認性を妨げる場合は、道路交通法に規定する禁止行為に抵触する可能性が考えられるが、道路交通法の違反に当たるかの判断は、現場の状況を確認して警察において判断されるものと認識している。②のぼりやポスターなどの掲示物を道路施設に無断で取り付ける行為は、道路構造の保全及び交通安全の観点から、道路法上の規制に抵触する可能性が考えられるため、適正なルールのもとで法令順守の徹底が重要であると認識している。③県、市などの道路管理者に連絡したとき、その情報を確認の上、小牧警察署等の関係機関と連携し、関係法令に基づき必要に応じて適切な対応を講じる。



学校現場からはじまる「闇バイト」加担防止に向けた包括的支援



無会派
伊藤 皇士郎



動画をチェック!

問

児童生徒の闇バイトへの加担は遠い他県の話ではなく、近隣市でも逮捕者が出るほど身近な事態となっている。本市における学校現場での取組と、警察をはじめとした関係機関との連携について問う。

答

学校では情報モラル教育を計画的に実施し、児童生徒がインターネットやSNSを適切に活用できるよう発達段階に応じた指導を行うとともに、道徳の授業を通じて心の教育の充実に努め、また、専門家を招いて具体的な事例を通して理解を深める取組も進めている。保護者にも、PTA総会や学年懇談会でインターネット利用のリスクや家庭での見守りの重要性について情報提供を行っている。学校生活で孤立や困難を抱える児童生徒については、日常の教育活動を通して把握するとともに、校内で情報共有を図り、問題の早期解決に努めている。関係機関との連携としては、市教育委員会は小牧警察と日常的に情報共有しており、また、生徒指導対策関係機関会議等に警察や少年センターにも参加いただき必要な情報提供と助言を受ける体制を整えている。



スターバックスコーヒージャパンとの契約



日本共産党小牧市議団
山田 美代子



動画をチェック!

問

①中央図書館内カフェスタバの水道光熱費は開館当初から市が負担している。使用量を把握していないのはなぜか問う。②覚書有効期限は令和8年3月31日であった。契約更新されて内容はどう変わったか問う。③今後、スターバックスコーヒージャパンから水道光熱費を徴収する予定はあるか問う。

答

①中央図書館内カフェスペースは、多くの市民の皆様から要望をいただいたことから設置することとしたもので、出店事業者の公募の際の出店条件として、カフェスペースの床・壁等の内装工事や設備機器等を全て出店事業者の負担で整備していただくことや光熱水費は市の負担とする一方、加算賃料の提案をいただくことなどを決定し、広く募集をしたものである。そのため、これまで加算賃料をいただく代わりに水道光熱費は徴収していないため、水道及び電気の使用量も把握していない。②当初の出店条件の内容から変更はない。③現在のカフェ事業者は、市民の皆様から大変好評をいただいております。出店の継続をさせていただくよう交渉を行った。あくまでも出店の継続という形であるので、当初の出店条件も継続することとしている。



自転車利用の環境整備



こまき民主市議団
諸岡英実



動画をチェック!

問

本年4月に自転車の交通反則通告制度（青切符制度）が施行され、16歳以上を対象に「ながらスマホ」や「右側逆走」などの違反行為に反則金が課されることとなった。自転車の交通規則は周知が十分でなく、歩道走行については市民からの問合せも多い。①自転車の歩道走行の判断基準について問う。②自転車通行空間の整備にも課題があるが対応について問う。

答

①小牧警察署に確認したところ「自転車は道路交通法上「軽車両」として原則車道の左側通行であるが、安全確保のためやむを得ない場合は、歩行者の通行を妨げないことで歩道通行が認められる。合理的理由が認められる場合は、青切符の対象とはならず、個別判断となるが、歩行者に危険がない場合は基本的に指導警告が行われる。」との回答を得ている。②自転車通行空間の整備に向けた「小牧市自転車ネットワーク計画」を令和8年1月に策定し、整備が必要な市道区間約39・6kmのうち、優先整備区間約11・5kmの整備を令和16年度までに進める計画である。令和8年度は、約0・6kmを車道混在型により整備する。



選挙に関する大幅な見直し



こまき民主市議団
小沢国大



動画をチェック!

問

大切な税金を有効的に使い、投票率向上に向けた取組を！選挙には多くの税金が使われる。今後は大幅な見直しを行い、投票率が向上するような取組に財源を振り替えていくべきと考える。①ポスター掲示場の設置箇所の見直しについて問う。②ショッピングモール等の人が集まる場所に期日前投票所を設置する事について問う。③若年層が選挙に関心を持つよう投票立会人や開票従事者等へ起用する事について問う。

答

①ポスター掲示場の数は、法令で定められている。設置場所が危険である等の意見があった際は現場を確認し、場所の変更をしている。②期日前投票所の設置には、本人確認用システムの整備や、選挙従事者の確保等の課題がある。新たな場所での設置となると、既存の投票所の縮小・廃止も考えられる。人が集まる場所への設置は効果も期待できるため、当日の投票環境も含め、調査研究する。③投票立会人の選出は、今後もお地元の協力をお願いしたい。立会人のほか従事者の負担軽減は必要なので、若年層への選挙啓発も踏まえ、検討していく。



市長の公約（マニフェスト）



無会派
大上利幸



動画をチェック!

問

①法定ビラが公約でない答弁だが市長の公約は存在しないのか伺う。②法定ビラが前回はマニフェスト、今回はマニフェストでない答弁だがどちらかが虚偽答弁なのか伺う。③子供たちは未来の小牧にどのようにワクワク出来るのか伺う。④通学にかかるバス定期代の補助の内容を伺う。⑤不登校の取組がない理由を伺う。⑥市民への周知の見解を伺う。

答

①②法定ビラは、選挙に際して「未来の小牧にワクワク」と題し、施政方針で示した考え方を土台に、5つの分野ごとに取組を整理したもので本市の市政運営における基本的な方針と理解している。③④⑤施政方針において市政運営の方針が示されており、現在策定中の小牧市まちづくり推進計画第3次基本計画において、将来の小牧市に対する具体的な事業等の検討を進めている。⑥計画の策定にあたり審議会を設置し、委員の市民公募や会議内容の公開、パブリックコメントも実施し、市民の意見などをうかがうことで、市民への周知につなげるものと考えている。



未来の小牧にワクワク!

その他の質問

- | | |
|---------------------------|----------|
| ● ナフサ不足の対応 | (小川 真由美) |
| ● 市民四季の森の新事業「四季彩フェスタ」 | (小川 真由美) |
| ● 行政サービスの効率化 | (鈴木 裕士) |
| ● 普通交付税不交付団体としての財政運営 | (木村 哲也) |
| ● 防災対策の推進 | (星熊 伸作) |
| ● 資源の持ち去り対策 | (清水 隆宏) |
| ● リトルベビー(低出生体重児)への取組 | (加藤 晶子) |
| ● 木造住宅の耐震化 | (猪飼 健治) |
| ● こまき巡回バスの運行車両 | (安江 美代子) |
| ● 小牧市の世帯数 | (黒木 明) |
| ● 「オンラインファースト」による効果的な会議運営 | (伊藤 皇士郎) |
| ● 篠岡地区の児童クラブ | (山田 美代子) |
| ● 地震災害時におけるご遺体の尊厳ある取扱 | (諸岡 英実) |



議会を傍聴しませんか

本会議及び委員会（議会運営委員会は開催日の5日前までに開催が決定したものに限り）は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

傍聴を希望される方は、会議の開催日に東庁舎3階の議会事務局にて受付してください。

傍聴の際に、手話通訳または要約筆記が必要な方は、傍聴予定日の5日前（土・日・祝日を除く）までに申込書を議会事務局までご提出ください。（申込書は市議会ホームページに掲載しています。）



YouTubeによる 議会中継

YouTubeで
議会中継を視聴
することができます。



次回定例会のお知らせ(予定)

- ・ 8月25日(火) 本会議(招集日)
 - ・ 9月2日(水) 本会議(一般質問)
 - ・ 9月3日(木) 本会議(一般質問)
 - ・ 9月4日(金) 本会議(一般質問)
 - ・ 9月7日(月) 総務委員会
 - ・ 9月8日(火) 福祉厚生委員会
 - ・ 9月9日(水) 文教建設委員会
 - ・ 9月14日(月) 予算決算委員会
 - ・ 9月15日(火) 本会議
 - ・ 10月5日(月) 本会議(最終日)
- ・ 市議会ホームページに年間予定を掲載しておりますが、正式な日程は、招集日前に開催される議会運営委員会において決定します。
- ・ 議事の都合により、日程が変更になる場合があります。



5/9

『議会報告会と市民の意見を聴く会』を開催しました

【議会報告会】 5/9 に小牧市役所にて開催し、約30名の市民の皆様にご参加いただきました。



報告では、3月に行われた第1回定例会の審査報告として、令和8年度小牧市一般会計予算の概要をはじめ、各常任委員会（総務・福祉厚生・文教建設）が所管する事業の審査内容について、ポイントを絞って説明させていただきました。

【市民の意見を聴く会】 常任委員会では、下記のとおり市民からご意見をお聞きしました。貴重なご意見をありがとうございました！

◆総務委員会（防災・環境の視点からのまちづくり）

- ・地域のコミュニティが必要である。
- ・学校と連携して、子どもたちと通学路の危険箇所をチェックし対策する。
- ・住民が参加しやすいように防災訓練の日程を設定してほしい。
- ・箱モノを作るより、ソフト面を充実させてほしい。
- ・ゴミの放置問題、啓発、教育を市としてどうするか。



◆福祉厚生委員会（安心して外出できる移動支援）



- ・シニアカー購入に市の補助はあるのか。介護認定受けなくてもシニアカーの補助をしてほしい。
- ・移動の不自由を感じている人の意見をどのように吸い上げていくのか。
- ・移動はあくまで手段であり、外出することが社会参加に繋がることを認識してほしい。
- ・安心して外出できない方が、どれくらいいるのか、把握してほしい。

◆文教建設委員会（夢のある公共交通）

- ・車の免許証を返納したので、老人福祉センターへ行けるように利便性をよくしてもらいたい。
- ・家族が身体障害者手帳を持っていて運賃は無料だが、100円を支払ってでもいいので、こまくるの運行は継続してもらいたい。
- ・小牧駅から市民病院までサポートできる車か自動運転で行けるとよい。
- ・大草から春日井駅までの便があるとよい。



行政調査報告

総務委員会

(◎佐藤 悟、○阿部 哲己、木村 哲也、伊藤 皇士郎、安江 美代子、河内 光(欠席)、加藤 晶子、小川 真由美、舟橋 秀和)

5月13日 佐賀県 佐賀市

バイオマス産業都市の取組

目的・理由

廃棄物がエネルギーや資源として循環するまちを目指す構想とその事業について、市としての愛知県下リサイクル率No.1を継続する本市にとって、学ぶべき点があると考えられたため。

視察項目概要

- ① 佐賀市バイオマス産業都市構想の概要
- ② ごみ処理・下水処理施設での展開事業
- ③ 各事業の効果・分析

意見・考察

ごみ処理炉の形式の違い等、前提条件に違いはあるが、本市としても処理後の産物の産官学連携、清掃工場近隣の温水プール跡地利用等の取組は参考になった。

5月14日 福岡県 大野城市

防災対策事業(地域防災力向上)の取組

目的・理由

市主導の「防災士養成講座」や「防災士連絡協議会」を組織化するなど、地域防災リーダーの育成と共助の体制構築において先進的な成果を上げているため。

視察項目概要

- ① 防災対策事業に対する市の考え方
- ② 防災士連絡協議会の取組
- ③ 市民総ぐるみ防災訓練の取組

意見・考察

本市においても市職員の防災力向上から始め、段階的に市負担での養成と連絡協議会の組織化をし、職員の伴走体制を構築することが有効であると考



福祉厚生委員会

(◎星熊 伸作、○永井 孝典、清水 隆宏、大上 利幸、山田 美代子、諸岡 英実、河内 伸一、小島 倫明)

4月21日 神奈川県 川崎市

だいJOBセンター、ホームレス自立支援センター及び若者・ひきこもりの居場所支援の取組

目的・理由

だいJOBセンター、ホームレス自立支援センター、若者・ひきこもりの居場所支援の取組を調査・研究するため。

視察項目概要

- ① だいJOBセンターの取組(概要・組織体制)
- ② ホームレス自立支援センターの取組(概要・成果)
- ③ 若者・ひきこもりの居場所支援の取組(内容・成果) ほか

意見・考察

生活困窮者支援、ホームレス支援、若者ひきこもり支援を「伴走型・多機関連携型」の仕組みとして構築しており、本市においても部局横断的なケース共有と同行支援の仕組みづくりを起点とし、重層的支援体制の整備を具体的に検討していく必要がある。

4月22日 東京都 青梅市

高齢者等のタクシー運賃助成

目的・理由

タクシー運賃助成にマイナンバーカードを活用する先進的な取組を調査し参考とするため。

視察項目概要

- ① タクシー運賃助成にマイナンバーカードを活用した経緯
- ② 事業の運営体制、利用状況 ほか

意見・考察

マイナンバーカードを活用することで事務処理の効率化とマイナンバーカードの普及促進も図っている。75歳以上すべてが利用対象となる制度のため、今後の移動支援策の一つの可能性として本市においても参考となる取組であった。



文教建設委員会

(◎小沢 国大、○余語 智、猪飼 健治、黒木 明、佐藤 早苗、谷田貝 将典、鈴木 裕士、石田 知早人)

5月18日 岡山県 総社市

総社市立五つ星学園義務教育学校

目的・理由

小中一貫教育における「義務教育学校」に取り組んでいることから調査・研究するため。

視察項目概要

- ①義務教育学校に至った経緯
- ②「昭和五つ星学園義務教育学校」の特徴・状況
- ③今後の展望

意見・考察

本市も小中一貫教育として「小中一貫型小学校・中学校」の設立を見据えているため、学校、PTA、保護者、地域が一体となって、未来の児童生徒のために、熟議を重ねていく必要性を感じた。

5月19日 香川県 高松市

高松丸亀町商店街の再生

目的・理由

住民・商業者・地権者・行政が一体となり構想から約30年以上かけて、官民連携による持続可能なまちづくりを実現した「高松丸亀町商店街」について調査するため。

視察項目概要

- ①商店街の再生に向けての目的及び方針
- ②住民・商店・行政が一体となって取り組んだ経緯
- ③今後の商店街の展望

意見・考察

「まちづくりは行政がやるものではなく、市民が担うものである」を念頭に、「共創のまちづくり」を目指していくことが肝要である。



7/17 コンプライアンス研修 ～ハラスメントについて～

7月17日に、FPM・a 小川ゆき氏を講師に迎え、ハラスメントのない環境づくりに取り組むことを目的として、議員研修会を開催しました。

ハラスメントの定義、身近な事例、適切なコミュニケーションなど、ハラスメントを防ぐ良好な人間関係づくりに必要なことについてお話いただきました。今回学んだことを今後の議員活動に活かしてまいりたいと思います。



議員の寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の人にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

地域の行事等で議員に対し会費が伴う行事等の案内をされる場合は、案内文に会費(他の参加者と同額の会費に限ります)を明記してご通知ください。

 お歳暮やお年賀	 入学祝・卒業祝	 病氣見舞い	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪	 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
 お祭りへの寄附や差入	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入	贈らない! 求めない! 受け取らない!	

暑中見舞い等の差出し自粛にご理解を!

市議会では、暑中見舞い等の差出しの自粛を申し合わせています。

市民の皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。



小学生議場見学



5月8日に小牧南小学校6年生の皆さんが、校外学習の一環として議場見学に来庁されました。

当日は議会運営委員会の河内伸一委員長と加藤晶子副委員長が、市議会の仕組みや議員の仕事について、「市議会議員になると思った理由は何ですか」「会議がない時は何をしていますか」など児童からの活発な質問を受けました。

児童の皆さんは、メモを取りながら熱心に議員の話に耳を傾けていました。



小牧市の魅力を議会だよりの表紙に掲載しませんか



表紙写真(11月1日号)を募集

- ◇募集内容 市内の行事・風景など
小牧市の魅力が伝わる写真
- ◇応募は一人2点まで

- ◇締め切り 10月2日(金)
- ◇提出先 小牧市議会事務局



▲詳細はこちら

8月1日号へのたくさんのご応募ありがとうございました。